

# 環境報告書 2009



*Creation & Harmony*  
**SK-Electronics CO., LTD.**

# 「自然との調和」

# Harmony

## コンテンツ

ごあいさつ	02
環境への取り組み	02
環境活動の歩み	03
環境管理組織	03
環境マネジメントへの具体的取り組み	04
社会貢献活動	07
環境保全活動	09
今後の取り組み	10
会社概要	10

## 編集方針

この「環境報告書」は、当社が地域社会の一員として環境保護の責任を担い、これまで取り組んでまいりました環境保全活動ならびに社会貢献活動の内容や成果をご紹介することで、当社の「環境」に対する考え方を皆様にご理解いただく事を目的に作成いたしました。

## ごあいさつ

エスケーエレクトロニクスは「創造と調和」を経営理念としています。「創造」とは常に積極的に新しい価値創造に励み、社会の求めるより良い製品をご提供するという意味です。

「調和」とは、社会との調和、**自然との調和**、そして人との調和を大切にした企業活動により社会的責任を果たすという意味が込められています。

この経営理念に基づき、当社の環境理念である「常に自然の恵みを大切にした企業活動を通じて環境改善に取り組み、自然との調和を実現していきます。」を策定いたしました。

地球の限りある資源のもと事業活動を行う当社は、地球環境保全や環境負荷低減のために、その事業の成果をもって貢献する責務があり、また環境問題への取り組みは企業価値向上につながる重要な企業活動の一つであると考えています。

今後は、社会の求めるより良い製品をご提供するとともに、地球環境保全や環境負荷低減に貢献し、環境理念である「自然との調和」の実現を目指してまいります。



代表取締役社長

野上良忠

## 環境への取り組み

当社では、環境経営を実践していくうえで重要なシステムとなる環境マネジメントシステム(ISO14001)を、2002年に京都工場で認証取得を行い、その後、本社、資材センターでも拡張認証を受けました。

また、環境理念に基づく5つの環境方針を策定し、掲げた環境目標を達成する為に、環境管理体制を整備して、社員一人ひとりの環境意識向上に取り組んでまいりました。

地域社会とのコミュニケーションも重要な取り組み課題の一つと考え、まずは事業所周辺の身近な地域社会における環境保全活動ならびに社会貢献活動を地域の方々とともに、進めております。

今後は、後ほどご紹介申しあげます環境保全活動や社会貢献活動の継続ならびに充実を図り、当社に課せられた社会的責任を果たしてまいります。

### 経営理念

#### 「創造と調和」

### 環境理念

常に自然の恵みを大切にし、企業活動を通じて環境改善に取り組み、自然との調和を実現します。

### 環境方針

1. 地球温暖化防止のため、省資源・省エネルギーに努めます。
2. 汚染を予防し、循環型社会の形成に貢献します。(3Rの実践)
3. 環境教育を実施します。
4. 社会貢献活動を実施します。
5. 環境関連の法律、規制および協定を遵守します。

※3R・・・Reduce(廃棄物の発生抑制)、Reuse(再利用)、Recycle(再資源化)



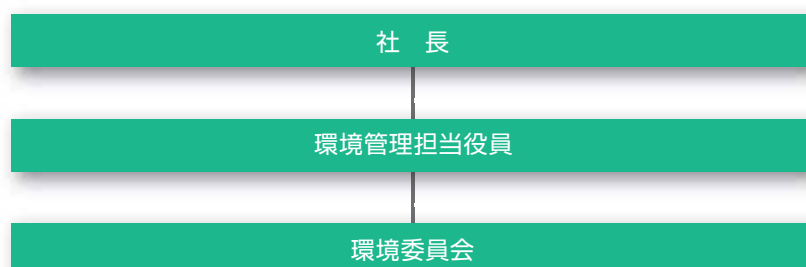
## 環境活動の歩み

2001年	10月	株式会社写真化学より分社し、株式会社エスケーエレクトロニクス設立	
2002年	9月	京都工場でISO14001認証取得	
2005年	5月	本社、京都工場での周辺地域清掃活動スタート	
	12月	本社でISO14001拡張認証取得	
2006年	8月	本社前の戻橋児童公園へベンチ5脚寄贈	京都市より感謝状授与(2006年9月)
2007年	9月	資材センターでISO14001拡張認証取得	
	11月	社会福祉法人への支援活動を開始(京都工場)	
2008年	6月	京都工場の所在地である久御山町内の幼稚園に「緑のカーテン」を設置	
	8月	京都市、NPO法人、企業のハイブリッド組織で「水源の森づくり」活動に参画	
	10月	京北町の合併記念の森にて北山杉の間伐作業に参加	P9
2009年	5月~10月	京都工場の近隣2カ所の幼稚園に「緑のカーテン」を新たに設置	P8
	7月	木津川の上津屋橋(通称:流れ橋)付近一帯の清掃活動を行い、地域の美化に貢献	P7

## 環境管理組織

- 当社では、社長を最高責任者として環境保全活動に取り組んでおります。
- 社長の命をうけた環境管理担当役員のもと、環境委員会を設置しています。
- 環境委員会で企画、検討を行った取り組みについて、スムーズに実施するために環境委員会は各職場代表で構成しています。
- 社員は環境委員会のもと、環境保全活動に取り組めます。

### 環境管理組織図



## 環境マネジメントへの具体的取り組み

### 環境目標

#### 環境3ヵ年計画の実績

##### 第1期 (2002年9月期～2004年9月期)

第1期は、CO<sub>2</sub>削減と廃棄物削減に取り組みました。CO<sub>2</sub>削減(売上原単位※)は、2001年9月期の実績値から20%削減の目標としましたが、2004年9月期には、23%の削減をする事が出来ました。

廃棄物削減については、2001年9月期から40%削減の目標としましたが、3年間で51%の削減をする事が出来ました。

※売上原単位・エネルギーの使用量/売上高

##### 第2期 (2005年9月期～2007年9月期)

第2期の計画は、引き続きCO<sub>2</sub>および廃棄物削減に取り組むと共に、水、電力、燃料、排ガス消費の削減を目指しました。

CO<sub>2</sub>削減の結果は、2004年9月期の実績に対して15%削減の計画でしたが、残念ながら2007年9月期には7%増になりました。

しかし廃棄物削減は、2004年9月期から30%削減の目標に対して2007年9月期には90%削減をする事ができ、大幅な削減となりました。

##### 第3期 (2008年9月期～2010年9月期)

第3期の計画は、グリーン購入率の向上、事務用品購入量の削減、コピー用紙購入量の削減、故紙・ダンボール排出量の削減、そして製品歩留まりの向上に取り組んでいます。

実績内容については、5頁、6頁に記載の通りです。

## 環境マネジメントへの具体的取り組み

### ■環境教育

当社では、社員の環境意識向上を目指して、以下の環境教育を行っております。

#### ①入社時の教育

入社時に環境理念、環境方針、環境目標、ISO14001についての説明を行い、環境取り組みについて周知徹底を図っています。

#### ②ビデオを活用した環境教育

2009年6月の環境月間に合わせ、環境教育の一環としてビデオによる環境教育を本社食堂にて上映しました。今回は、3日間にわたり企業にかかわる環境問題をテーマに約30分の環境ビデオを上映し、多くの社員が視聴いたしました。

また昨年、地球温暖化防止活動のNPO法人より講師を招いて地球温暖化対策として家庭や会社でできる省エネの講習会を実施しました。

今後も社員の環境意識向上を目指して、ビデオ上映会、講演会などを随時開催していきます。



本社食堂にて環境ビデオ上映風景  
(2009年6月4日、5日、8日開催)



地球温暖化対策についての講習会開催風景  
(2008年4月2日開催)

### ■グリーン購入

当社では、物品等を購入する際に地球環境への負荷ができるだけ小さいものを選定し購入するという環境改善運動であるグリーン購入に取り組んでいます。2002年9月期より「環境3ヵ年計画」を実践し、本社においては2010年9月期までにその購入率を95%まで引き上げることを目標としています。

第3期「環境3ヵ年計画」2年目となった2009年9月期の購入率は、「環境3ヵ年計画」の周知徹底と社員一人ひとりの環境意識の向上により、目標値の75%に対して約95.9%となり、目標を1年前倒して達成することができました。

第3期「環境3ヵ年計画」の最終年度となる2010年9月期では、既に達成したグリーン購入率95%を維持することは当然のことながら、更なる進展を目指していきます。

## ■事務用品、コピー用紙の購入量削減

環境マネジメントの一環として、本社において事務用品やコピー用紙の購入量削減を「環境3カ年計画」の目標として定めて取り組んでいます。前年度実績に対して5%の削減を目指し、当期の数値目標は事務用品が940件以内の購入、コピー用紙が35万枚以内の購入としました。

結果として、事務用品は338件の購入となり、前年度実績より65.7%の削減となりました。一方、コピー用紙は約40万枚の購入・使用となり、前年度実績に対して購入・使用量が約6.4%増加してしまいました。

コピー用紙購入量は、残念ながら目標未達成となりました。社内業務におけるコピー用紙の使用状況等の見直しを行うとともに、業務等のペーパーレス化を推進していきます。

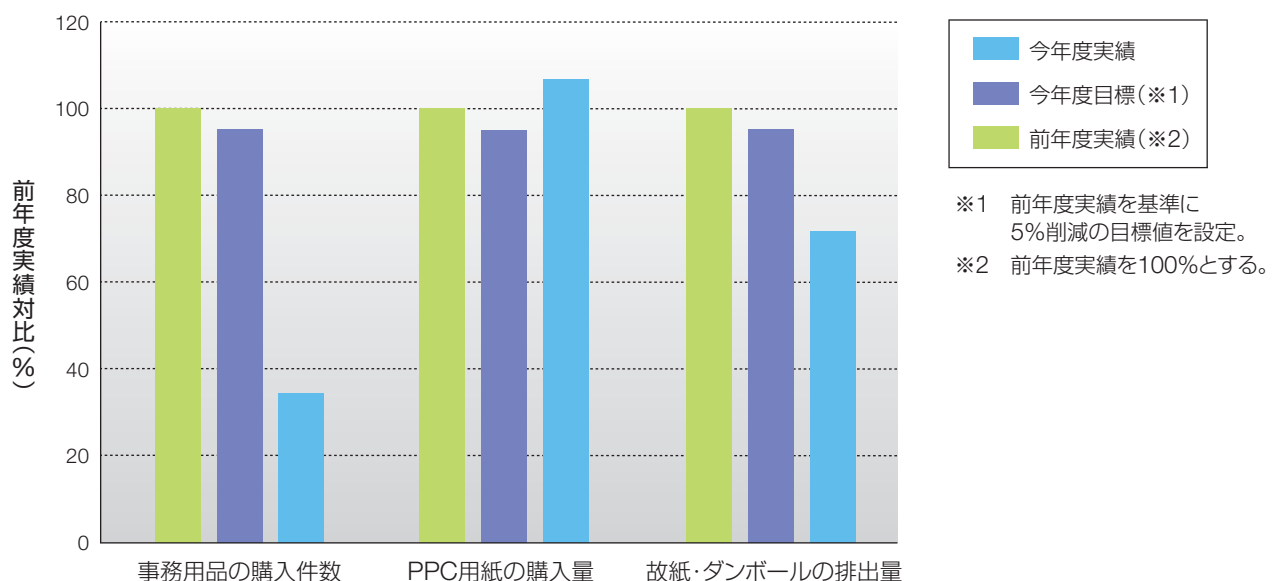
## ■故紙・ダンボールの排出量削減

本社では同じく故紙・ダンボールの排出量削減の取り組みを行っています。「環境3カ年計画」に定める目標として、前年度実績に対して5%の削減を目指しています。

当期は排出量を3,500kg以内をすることを目標としました。結果として、排出量は2,636kgとなり前年度実績より約28.4%の削減となりました。

2010年9月期においても、当期に引き続き故紙・ダンボールのさらなる排出量削減に取り組んでいきます。

### 〈削減率の推移〉



## 社会貢献活動

### ■上津屋橋(通称:流れ橋)の清掃活動

2009年7月11日、環境委員会メンバーと社員有志で京都工場近くの本津川の「流れ橋」周辺の清掃を行いました。

「流れ橋」は、京都工場のある久御山町と八幡市を結び、本津川に架けられた風情のある木造橋で、時代劇のロケ地にも利用される景勝地です。川原も広く、休日には親子が自然と触れ合う姿も見られるなど地域住民の憩いの場として親しまれています。

そこで、社会貢献活動の一環として、「流れ橋」を訪れる皆さんが気持ちよく利用できるように清掃活動を行うことにしました。

当日は、梅雨の合間の晴天となり、絶好の清掃日和となりました。作業する我々に「ご苦労様」と声を掛けてくださる方もあり、参加者全員とても爽やかな気分で清掃活動を行うことができました。

今後も、このような活動を通じて地域社会への貢献を続けていきたいと考えています。



清掃活動をする参加者

### ■社会福祉法人への支援活動

2007年11月から「社会福祉法人 京都梅花園 障害者支援施設 あんびしゃ」の生徒さんの社会的自立支援を目的としたパン販売が京都工場食堂で毎週水曜日の昼休みに行われていましたが、障害者自立支援法によって施設運営方法の変更を余儀なくされた結果、2009年6月をもって終了することとなりました。

今まで、約1年7ヶ月の間に販売したのは、販売個数5587個、販売金額104万円、販売に参加した生徒さんの延べ人数142人と多くの実績を残すことができました。

生徒さんからは、「何度か販売へ行く毎に職場の雰囲気にも慣れ、声出し等の対応ができるようになってきました。嬉しかったのは、たくさんパンを買ってもらったことや『美味しかった』と言ってもらえたことです」とコメントをいただきました。

販売側の就労支援員さんからは、「訓練の目的を理解して下さり、笑顔で接客対応を見守って下さったり、声をかけて下さったことを大変感謝しています」とコメントをいただきました。

6月24日の最終日には、毎週買っている常連の社員に加えて、多くの社員が購入し、最後ということでもっと多くの販売数となり、盛大に幕を閉じることができました。

今回の経験をもとに、課題を検討し、今後の支援活動に役立てていきたいと思えます。



パンの販売風景



## ■緑のカーテン

地域貢献活動、環境保全活動の一環として去年に引き続き、久御山町内幼稚園へ「緑のカーテン」の設置を行いました。

去年は久御山町立御牧小学校附属幼稚園のみの設置でしたが他園からも設置の要望があり、今回は久御山町立御牧小学校附属幼稚園、同町立佐山小学校附属幼稚園、同町立東角小学校附属幼稚園の3園で設置を行いました。

「緑のカーテン」設置は、体感温度の上昇を抑えることと設置した植物の花や実がなることにより、その生長を園児達に体感してもらうことを目的としました。

設置した植物は、去年と同じくゴーヤ、ヘチマ、千成瓢箪、琉球朝顔としました。



ゴーヤ



ヘチマ



千成瓢箪



琉球朝顔



苗植えの様子



乾燥したヘチマ

5月中旬にそれぞれの園へ「緑のカーテン」の設置と苗の植え付けを行い、苗の植え付けや水やりは園児達に手伝ってもらい園児達との交流をはかりました。

去年は生育状況が悪く「緑のカーテン」としての効果が少ないので、今年はその反省点をふまえて土を改良し、度々肥料の追加および生育状況の確認を行いました。

その結果、去年よりも多くの実がなり、広範囲にわたり生長しました。しかし、緑の層が薄くまだまだ「緑のカーテン」としての効果は少なかったようです。

去年同様、収穫したゴーヤは園児達が持ち帰ってそれぞれの家庭で食され、ヘチマは乾燥させてタワシに加工され使用されました。

今後は、去年、今年の反省点を活かし効果のある「緑のカーテン」設置を継続させ、地域貢献、環境保全に務めていきたいと考えています。

## 環境保全活動

### ■水源の森づくり 参加

このプロジェクトの目的は、地球温暖化防止モデル事業の推進です。地球温暖化は森林の荒廃にも非常に関係していることから、理想の森づくりを目指します。人工林の手入れ、広葉樹の植林、間伐材の再利用といった活動を行います。

今年度は2回の間伐を京都市右京区京北町で実施しました。

2008年10月 第1回間伐作業(参加者19名 当社より4名参加)

2009年 3月 第2回間伐作業(参加者18名 当社より2名参加)

2009年 8月には京都工場の全体昼礼にて上記2回の間伐作業時のビデオを上映し、森林保全の大切さを社員に知ってもらいました。

### ■里山地区住民とのコミュニケーション

森林保全活動のエリアを広げることと、地域の方々との交流をはかるため2009年6月には京都市の花背地区での伝統行事「虫おくり」の松明作りに参加しました。



### ■太陽光発電システムの活用

京都工場では、クリーンなエネルギーである太陽光を利用する太陽光発電システムを導入し、環境保全に貢献しています。

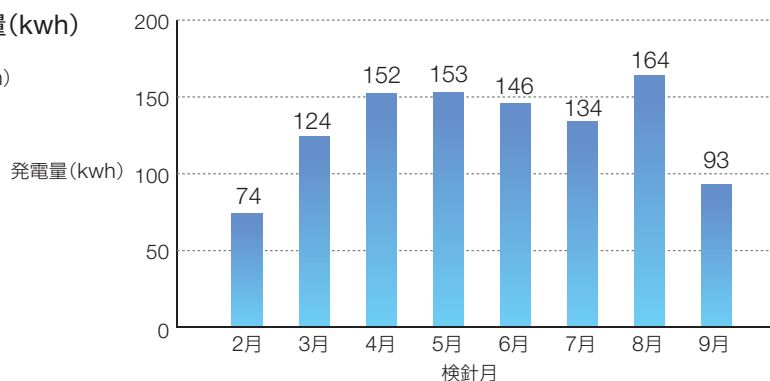
今期の発電量は以下の通りです。

今期の積算〈2009.3月～9月〉

検針月	月次積算量(kwh)	年次積算量(kwh)	総積算量(kwh)	今月の収入金額(円)
3月	124	198	5625	1,178
4月	152	350	5778	1,444
5月	153	503	5931	1,454
6月	146	649	6078	1,387
7月	134	783	6212	1,273
8月	164	947	6377	1,558
9月	93	1,040	6470	884
合計	1040	1,040	6470	9,880

太陽光発電積算量(kwh)

■ 月次積算量(kwh)



## 今後の取り組み

当社は、社会が求めるより良い製品を提供するとともに、地球環境保全や環境負荷低減に貢献し、環境理念である「自然との調和」を実現していくために、以下の取り組みを実践していきます。

### ①環境マネジメントの実践

環境マネジメントへの具体的な取り組みとして、これまで実践してきた「環境教育」を今後も積極的に継続し、社員一人ひとりの環境意識のさらなる向上を図ります。「環境3カ年計画」にある各目標については、社員一人ひとりがその目的、効果を十分に理解し、達成に向けて取り組んでいきます。

### ②社会貢献活動の実践

すでに実践している地域清掃活動や「緑のカーテン」設置活動などは今後継続していくことはもちろんのこと、地域社会の皆様とコミュニケーションを図りながら、新たな社会貢献活動へ参加していきます。「緑のカーテン」の設置など、拡大のご要望をいただいている取り組みには積極的に応えていきます。

### ③環境保全活動の実践

環境保全活動の一つとして参加している「水源の森づくり」は、社員の環境教育の場としても活用をさせていただいています。地球温暖化防止につながる取り組みについては今後も積極的に参加し、環境理念の実現に取り組んでいきます。

### 滋賀工場ミニ農園だより

2009年3月に本格稼働した、次世代大型フォトマスク製造工場である滋賀工場は、約42,000m<sup>2</sup>の広さがあり、その敷地内には緑地部分を多く配置しています。そんな滋賀工場の一角に今年8月、5種類の野菜の種をまき“滋賀工場ミニ農園”をスタートさせました。

無農薬で栽培しているため虫食いとの戦いがありながらも、野菜は順調に育っています。工場敷地内という身近な場所での取り組みではありますが、この“ミニ農園”での野菜づくりを通じて、ささやかではありますが、自然の恵みの大切さを学ぶ機会になればと考えています。



収穫前のほうれん草

## 会社概要

社名	株式会社 エスケーエレクトロニクス	SK-Electronics CO., LTD.
設立	2001年10月1日	
本社住所	〒602-0955 京都市上京区東堀川通り一条上ル豊富田町436番地の2	
事業内容	大型フォトマスクの製造、販売	
資本金	4,109,722 千円	
従業員数	252名(2009年9月30日現在)	



株式会社 **エスケーエレクトロニクス**  
[www.sk-el.co.jp](http://www.sk-el.co.jp)



本社 / 〒602-0955 京都市上京区東堀川通り一条上ル堅富田町436番地の2  
東京営業所 / 〒105-0004 東京都港区新橋5丁目19番15号 アド・タイヘイビル6階  
京都工場 / 〒613-0035 京都府久世郡久御山町下津屋富ノ城62番地1  
滋賀工場 / 〒528-0068 滋賀県甲賀市水口町ひのきが丘38番

TEL.(075)441-2333(代) FAX.(075)441-4291  
TEL.(03)5425-6061(代) FAX.(03)5425-6062  
TEL.(0774)44-2921(代) FAX.(0774)48-2163  
TEL.(0748)65-1390(代) FAX.(0748)65-1391